

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

弘前型「産業集積と観光振興」による雇用創出プラン

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

弘前市

### 3 地域再生計画の地域

弘前市の全域

### 4 地域再生計画の目標

弘前市は、青森県西南部津軽平野の中央に位置し、面積528.6km<sup>2</sup>、人口約18万9千人を有する全国一のりんご産地であり、豊かな農林資源を用いた食品加工・製造業等の産業が集積している。また、昭和50年代以降、青森空港、東北縦貫自動車道等の高速交通体系の整備が進む中、工業団地を順次整備し企業誘致に努めてきた結果、弘前市のみならず周辺市町村に光学用プリズム等の光技術関連企業、電子部品・デバイス等の拠点工場が集積し、電気機械・精密機械等の加工組立型企業が立地している。

さらに、平成19年に認定された企業立地促進法に基づく基本計画では、光デバイス、光ファイバー等の既存の光技術産業をベースにした「光技術関連産業の集積」、農工の連携・融合等による新産業の創出を目指す「あおり農工ベストミックス新産業創出構想」及び健康増進サービス等の創出を目指す「あおりウェルネスランド構想」を掲げ、地域資源を活用した産業活性化と雇用の創出に向けて、県及び周辺市町村と共に取り組んでいる。

また、弘前市は平成18年2月に周辺の岩木町及び相馬村と合併したことで、岩木山を中心とした豊かな自然と温泉等の新たな観光資源を加えた。さらに、平成22年には東北新幹線の青森延伸が予定されていることから、弘前市は津軽半島から白神山地までの津軽地域の中核都市、広域観光の拠点と目されている。現在、新幹線新青森駅開業を見込んで、JR弘前駅前を中心に数棟のホテルが新規開業及び建設中であり、観光客の受け入れと共に雇用の創出に繋がっている。

この新幹線効果を最大限に活用するため、桜で有名な弘前公園を中心とした

従来の4大まつりに加え、官民一体となり、弘前市を一つの舞台と見立てた「弘前感交劇場」をキーワードに、新たな誘客戦略に取り組んでいる。

弘前市の新パッケージ事業は、企業立地促進法に基づく基本計画を推進する上で、よく課題とされる各分野における専門的人材の不足及び産業連携を推進できるコーディネーターの不在問題等に対し、人材を育成することで解消し、雇用効果の大きい第3次産業の企業が求める人材を供給、さらなる企業立地を促進する。また観光分野においては、前述の新幹線開業効果を最大限に活かすため、広域観光プロデュースの中核となる人材の育成等を行う。

こうした取組を通じて、より一層の雇用創出を図りつつ、観光客等との人的交流を拡大することで新たな文化の創造を行い、もって新市の総合計画に掲げた「自然と共に生きる豊かな産業・文化都市」の実現を目指す。

本地域再生計画の支援措置「地域雇用創造推進事業」におけるアウトプット指標  
事業メニュー別利用企業数・利用者数 (単位：人)

事業メニュー \ 年度	20年度	21年度	22年度	計
雇用拡大メニュー（事業主を対象）	50	90	90	230
人材育成メニュー（地域求職者を対象）	145	200	200	545
就職促進メニュー	50	100	100	250
計	245	390	390	1,025

本地域再生計画の支援措置「地域雇用創造推進事業」におけるアウトカム指標  
事業メニュー別雇用者数 (単位：人)

事業メニュー \ 年度	19年度	20年度	21年度	計
雇用拡大メニュー（事業主を対象）	—	—	—	—
人材育成メニュー（地域求職者を対象）	60	85	95	240
就職促進メニュー	5	10	10	25
計	65	95	105	265

## 5 目標達成のために行う事業

### 5-1 全体の概要

光技術関連産業の集積によって効果の高まる新製品開発や新事業創造を促進することで、さらに集積を図るという持続的成長のためには、研究開発機能の充実・強化が必要となる。専門的人材、先進技術者が不足している。企業の組込ソフトやCAD等の技術を持つ中核的人材のニーズは大きい。それら人材を育成するための体系的な学習ができる機関や機会が少ない。特に経営基盤の弱い地元企業は、人材がいないため外注せざるを得ず、経費がかさんでいる状況である。また、雇用創出に大きな効果をもたらすコールセンター誘致を企画しているものの、企業の求めに応じられる人材が不足しており、現在、誘致に至っていない。企業誘致を実現するためにも、専門的知識をもった人材の育成が必要である。そのほか、りんごをはじめとする農産物や加工食品等の高付加価値化と商品力強化、さらには新商品開発による売上げ拡大のためには、これらに取り組む優れた人材の育成が急務である。

現在、東北新幹線新青森駅開業効果による観光客の大幅な増加に対する受け皿づくりの体制が整いつつあるものの、接客、接遇、観光イベントの企画等に秀でた人材は不足している。「弘前感交劇場」をコンセプトに新たな誘客戦略の推進するに当たり、関係する団体等の人材育成を早急に行う必要がある。

こうした企業ニーズ等を満たすため、市及び県で取り組んでいる光技術産業関連事業及び農工ベストミックス構想推進事業分野にかかる人材、地元特産品の開発・販売のための人材、植物工場の栽培技術や品質管理を学んだ人材の育成等に取り組む。

そのほか、市、(社)弘前観光コンベンション協会及び弘前商工会議所で実施する四大まつり等観光事業等と連携する観光分野の人材育成を進め、増加する国内外の観光客に対応するホテル従業員やタクシードライバー等の観光従事者の十分なおもてなし体制を構築するとともに、有料観光ガイドの育成、ホテル従業員の人材育成等、新たな雇用に対応するために取り組む。

以上、重点分野である光技術関連産業分野・農工関連分野・観光分野を相互に有機的に結びつけ、第3次産業等を活性化し、相乗効果で本計画の目標の達成を図る。

### 5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 支援措置 地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）により取り組む事業

#### （1）事業の実施主体

弘前市雇用機会増大促進協議会

（弘前市、青森県中南地域県民局、弘前商工会議所、社団法人弘前観光コンベンション協会、社団法人弘前市物産協会、弘前地区雇用対策協議会）

#### （2）地域重点分野の設定

光技術関連産業分野・農工関連分野・観光分野

#### （3）事業の具体的内容

##### I 雇用拡大メニュー（事業主を対象）

##### 1) 地元特産品商品開発マーケティング事業

マーケティング向上講習会・素材力向上講習会・販売力向上講習会

地元特産品の製造、販売に関わる中小企業者が、新商品開発や事業拡大等に取り組む際の問題解決のため、講習会を実施する。また、必要に応じて専門家を派遣し助言・指導を行う。

##### 2) 野菜工場推進事業

産地直売野菜工場の高度化、マーケティングセミナー

安心・安全な食が求められる中、安定生産、安定供給が可能である人工光を活用した植物工場での野菜の生産システムの栽培技術や品質管理の向上、マーケティング等のための人材育成を行う。

##### 3) 観光コンシェルジュ養成事業

東北新幹線新青森駅開業による観光客の増加への対応や「弘前感交劇場」をコンセプトとした新たな観光施策を効果的に推進するために、関係団体及び市民の観光客受け入れのためのモラルやもてなしの心の醸成等意識向上等を図る次の事業を行う。

①フィルムツーリズムセミナー

弘前感交劇場の舞台を、常時、映画やテレビ等のロケ地として積極的に売り込むため、フィルムツーリズム全般について、適切な対応ができる人材の育成を行うとともに、創業に向けた組織作りを学ぶ。

②インバウンド観光セミナー

増加する韓国や台湾等の外国人旅行者が、安心して街を観光することが出来る環境づくりのため、観光関係者の語学の習得を支援する。

③温泉旅館経営指導セミナー

多くの観光客の受入れのため、温泉旅館としてのおもてなしや経営知識を学ぶための経営指導セミナーを実施する。

Ⅱ 人材育成メニュー（地域求職者を対象）

1) 地元特産品流通・販売促進事業

流通・販売システム活用セミナー

地元特産品について Web 市場等を活用した販路を開拓するためのセミナーを実施し、販路拡大に伴う雇用の創出を図る。

2) 光関連産業人材育成事業

①組込ソフト開発人材育成事業

需要が大きく増加している組込みソフトを開発できる人材育成の研修を実施する。

②CAD/CAM 技術者人材育成事業

人材が不足している光関連産業の CAD/CAM 技術者育成の研修を実施する。

③コールセンター人材育成事業

光通信技術を活用したコールセンター誘致に資する人材育成の研修を実施する。

3) 観光産業人材育成事業

①ホテル従業員人材育成事業

新幹線新青森駅開業に向け、建設が進められているビジネスホテルや既存のホテル等への就職希望者を対象に、専門分野の研修を実施し、即戦力の人材を育成する。

## ②観光ガイド養成講座

弘前感交劇場において観光客と地元の人々が交わる旅という、新たなスタイルの構築に伴い増加が見込まれる観光客への多種・多様なニーズにきめ細かく対応できる有料ガイドを養成する。

## ③観光サポート人材育成事業

家族連れや高齢者等の観光客が安心して観光できるよう、子どもや高齢者等のサポートができる人材を育成する。

### Ⅲ 就職促進メニュー

#### 1) 協議会ホームページ事業

##### 協議会ホームページ作成事業

市内における就職促進を図るため、地域求職者等に対し、セミナー・研修等の情報提供を行う。

#### 5-3-2 本市独自の取り組み

##### (1) 光技術産業関連事業

- イ 内 容
- ・光技術関連産業が集積し、高い技術水準を持つという津軽地の特性を伸ばし、光技術関連産業の一層の集積・活性化を図るため、フォーラム・セミナーの開催及び創業支援を実施している。
  - ・LED やソーラー発電等の光を用いた野菜・花きのハイテク農業の技術確立・普及を目的とした調査事業を実施している。

ロ 実施主体 弘前市・青森県

##### (2) 農工ベストミックス構想推進事業

- イ 内 容
- ・農産物の生産管理システムの開発や機能性を追求した加工商品の開発とともに、新たな資源の研究・実証プロジェクトの誘導を行っている。
  - ・新生産システム、グリーンエネルギー活用型生産プロジェクトの実現に向け野菜工場及び農林系バイオマス利用等の調査・研究を実施している。

ロ 実施主体 弘前市・青森県

(3) 四大まつり等観光事業

- イ 内 容
- ・日本有数のさくらまつりや伝統的なねふたまつり等、季節ごとの四大まつりを実施し、多くの観光客を誘致している。
  - ・弘前城等の伝統建築や洋館等の恵まれた観光資源と、数多いフランス料理店を結びつけた観光キャンペーン等を実施している。

ロ 実施主体 弘前市、(社)弘前観光コンベンション協会、弘前商工会議所

(4) 弘前感交劇場推進プロジェクト

- イ 内 容
- ・平成22年度予定の東北新幹線新青森駅開業の経済効果を最大限に活用するため、弘前市を一つの舞台と見立てた、「弘前感交劇場」をキーワードに新たな観光戦略を打ち出している。  
(まつり活性化推進事業、ホスピタリティ向上推進事業、新幹線活用対策事業等)

ロ 実施主体 弘前市、(社)弘前観光コンベンション協会

(5) 東北新幹線新青森駅開業に向けた観光振興事業

- イ 内 容
- ・東北新幹線新青森駅開業という機会を最大限活用するため、新幹線活用プロモーション協議会及び新青森駅開業効果活用推進協議会に参画している。これに加え、観光都市である弘前市の観光をさらに振興するため、春ねふた「じよっぱれ弘前」や「The 津軽三味線」事業を実施する。

ロ 実施主体 弘前商工会議所

6 計画期間

認定の日から平成23年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

各事業に参加した事業利用企業、事業利用求職者に対し、「地域雇用創造促進事業利用者アンケート調査票」及び聞き取り調査を行うことにより、雇用件数、就職状況を確認する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

(1) 弘前市中心市街地活性化基本計画

イ 内 容 中心市街地への都市機能の集約と経済活力の向上を目的とした新中心市街地活性化基本計画の策定に着手しており、平成20年度内の認定を目指している。

(2) ビジット・ジャパン・キャンペーン

イ 内 容 平成22年のビジット・ジャパンの目標達成年と連携し、インバウンド観光(外国人旅行者)の増加を図る。